

8. 学習指導・評価計画 6年 鉄棒運動 「めざせ 鉄棒名人！」 < 4 5 分×5 >

過程	はじめ	なか			まとめ
時	1	2	3	④	5
学習のねらいと活動	<div>オリエンテーションで学習のねらいや進め方をしり、単元全体の見通しを持つ。</div> <div>1. 学習カードの使い方を理解する。 2. 感覚づくりの運動の仕方を知る。<div><div>・にぎる ・支える (支持感覚) ・ぶら下がる (振動感覚) ・回る (回転感覚)</div></div><div>3. 練習方法を理解する。 4. 器械・器具の準備の仕方について知る。</div></div>	<div>感覚づくりの運動をしたり、自分の力に合っためあてをもって鉄棒運動をしたりして楽しむ。</div> <div>1. 感覚づくりの運動をする。 2. 技の挑戦学習をする。<div>・活動1 → 活動2 → 活動3</div><div><div>活動1 ○逆上がりタイム ・逆上がり ・連続逆上がり ・反動逆上がり</div><div>活動2 ○足かけタイム ①膝掛け回転技 ・片膝かけ回転 (足かけ回り) ・両膝かけ回転 (地獄回り、天国回り) ②支持回転技 ・かかえ込み回り (だるま回り) ・前方支持回転 (前回り) ・後方支持回転 (空中逆上がり)</div><div>活動3 ○こうもりタイム ・両膝掛け振動下り (こうもり振り下り) →発展技、変化技、連続技、組み合わせ技</div></div></div> <div>3. 学習のまとめをする。<div>・友達のよい所を発表する。</div></div>			<div>学習の成果を発表し合って、鉄棒運動を楽しむ。</div> <div>1. 学習の成果を発表する。 2. 友達のよい所を認め合う。<div>・友達のよい動きを見合う。 ・友達のよい所を発表する。</div></div>
	○学習のねらいや学習のながれを知り、鉄棒を使った運動に興味をもつようにする。 ○感覚づくりの運動の仕方を理解するようにする。 ○グループで協力して、器械・器具の準備・片付けができるようにする。 ○安全のための約束を理解するようにする。	○感覚づくりの運動を行い、ねらいに合った動きができるようにする。 ○それぞれの場で、ねらいに合った動きができるようにする。 ○安全に気を付けて活動するようにする。 ○友達のよい所を見付けることができるようにする。			○自分に合った場を選んで、よりよいできばえになるようにする。 ○安全に気を付けて活動するようにする。 ○友達のよい所を見付けることができるようにする。
	【技能】	<div>感覚づくりの運動ができる。</div> <div>基本的な上がり技や支持回転技、下り技を安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすることができる。</div>			
具体的な評価規準の一例	【態度】 <div>鉄棒運動に進んで取り 組もうとしている。</div>	<div>器械・器具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</div> <div>場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全に気を配ったりしようとしている。</div>			<div>約束を守り、友達と助け合って技の練習をしようとしている。</div>
	【思考・判断】	<div>技をつなぐ方法を知り、自分の力に合った技を組み合わせることができる。</div> <div>課題の解決の仕方を知り、自分の課題に応じた練習の場や段階を選ぶことができる。</div>			